

公益社団法人 守山青年会議所
2018 年度 第 1 回理事会
議事録

日時 2017 年 9 月 27 日（水） 19:00～21:15

場所 JC ルーム 2 階

出席者

役職	氏名
理事長	太田 智真
直前理事長	藤本 進矢
副理事長	南出 誠
副理事長	荒山 和也
専務理事	酒井 暁隆
理事	浅野 哲平
理事	上野 貴之
理事	八幡 洋一
理事	小林 哲也
理事	村田 徹
理事	高岡 健二
理事	白澤 旭
理事	北村 拓士
監事	三品 知寛
監事	間宮 良仁

遅刻	荒山 和也副理事長
遅刻	高岡 健二理事

1.開会 酒井専務理事

2.JCI クリード唱和 小林理事

3.JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和 上野理事

4.JC 宣言文朗読並びに綱領唱和 八幡理事

5.理事長挨拶 太田理事長

みなさんこんばんは。本日は 2018 年度公益社団法人守山青年会議所第 1 回理事会にお集まり頂きありがとうございます。平日の 7 時からとゆうことでお忙しいと思いますが定刻通りみなさまお集まり頂きありがとうございます。いよいよ第 1 回理事会が始まりました。私自身今日は 1 日そわそわしてですね、青年会議所とはなんだろうとゆうような思いもずっと持ちながら過ごしました。改めてクリードとかですねミッション、ビジョンとか英語ですけど改めてどんなことが書いてるのだろうと振り返ろうと思い色々ネットで和訳がないかなと調べ、最終必携を見たらなんのことはない、ちゃんと訳文が書いてありまして、それぐらい緊張しながらの今日

一日となります。

その中でこの青年会議所名、なぜここまで 20 歳から 40 歳までのメンバーがみんなこうやって貴重な時間を費やしてまで集まってくるのだらうとゆうようなことを自分なりに考えさせて頂きました。この青年会議所の活動そして運動の強みとゆうのはやはり 3 心情なのかなと私は考えています。友情・修練・奉仕、ここまでこの 3 つに強い思いを持ってですね、友情＝ほんとうに一生の友達が出来る場、修練＝ここまで大変な思いをする団体は他にあるのか。そしてそこから得られる成長、達成感。そして奉仕＝町の為にここまで度真剣に自分の事業とは関係のない所で追求していく団体は他にないなと思いますし、その中で自分たちの成長もそうですけど、地域に対する影響力も本当に強いものがあるなと感じております。その青年会議所活動を来年度もしつかりと活動、運動をしていく為にこの第一回理事会で今年度の方向性を決めていきます、所信、そして組織についての理事会になります。この内容でみなさんと意見を交わせるのはこの場限りになりますので本当に貴重な場にして頂きたいですし、忌憚のない意見を頂ければと思います。私の所信の中で革新と言う言葉を使っております。かたかなにするとイノベーションとゆうことで、いろんなこの青年団体として時代を先導し変化をさせていく団体の中でいろんな変化があるなかで革新とゆうものをあえて選ばしてもらいました。革新とゆうのは 0 から 1 を生み出すとゆうものではなく、今あるものを色々組み替えたり、見る角度を変えたりですね、そういったことでまた新しいものが生まれてくる、全然違ったものになっていく、もっと良いものが生まれてくるとゆうのが革新であります。脈々と先輩方から受け継いで続いてきたこの守山青年会議所の活動をより良いものとする為に、みなさんと共に革新を、いい意味で革新をして行きたいと思っております。私は本当に強い思いを持って革新を選びましたし、みなさんには J C の当たり前をいい意味でも、悪い意味でも疑って頂きたいと思います。これまであったものについては本当に意味があつてこうするから、こうしてきたから今の活動があるとうゆうことで意味があります。私も含めて青年会議所活動のそれほど暦が長い人間はただ単にめんどくさいとか、ただ単に否定的に捉えてですね、これまでの伝統をただ単に無くしてしまうのではなく、非難するのではなくここにどんな意味があるのだらう、何か意味があるのではないかと疑って頂きたいなと思います。そして、私の先輩を含めた、J C の先輩を含めた、J C の暦の長い方にも J C の当たり前を疑って頂きたいなと思います。あくまでも青年会議所は明るい豊かな社会を築く為の団体であり、そして市民を巻き込んで運動していく団体であります。その目的の達成の為にこの伝統は今後も続けて行くべきなのか、そうゆう意味での J C の当たり前を疑って頂きたいなと思います。

今日は理事会とゆうことでここに役員の皆様に集まって頂いております。35 名いる中でのさらにより選りすぐられた役員の皆様にとってより成長のできる場であればなと思いますし、またですね、青年会議所としてのそれぞれ皆様は、いろんな事業等で本当に厳しい民間のお仕事の中でいろんなもの、技能、スキルを得て頂いていると思います。それを守山 J C に還元して頂きたいと思いますし、双方向でみなさん、そして守山 J C が成長していける場にしたいと考えております。今日がその第 1 歩となりますことを祈念申し上げまして、私からのご挨拶とさせて頂きます。今日はどうぞよろしくお願い致します。

6.直前理事長挨拶

藤本直前理事長

皆様、改めましてこんばんは。本日は 2018 年度第 1 回理事会にご参加頂きました役員のみなさま、本当におつかれさまです。そして、おめでとうございます。

私自身がこの直前とゆう立場で 2018 年度第 1 回理事会をして頂くこと非常にうれしく思いますし、そしてこの場にこのような多くのメンバーで理事会を開けること、非常にうれしく感じております。

先程、理事長からもありましたように、来年度は革新とゆうのを指定部として守山青年会議所は進めていく形になると思います。まさしく、革新にふさわしく新たなメンバーが集まった理事会になったと思います。暦でいえばみなさま自身は非常に短い暦になるかと思います。ですが、それはマイナス面ばかりではないと私は考えております。理事長もおっしゃられてましたが、20歳から40歳まで、それが青年会議所のメンバーの年齢となっております。この20歳から40歳までとゆう年齢制限があるのは常に新しい風を入れる、そういった風習が青年会議所には根付いているからだと考えております。そして、1年ごとの役職の交代、これも同じく新しい風を常に入れる為に行われていることであります。

そして、1年間理事長を全うし、その理事長を支えて頂くとうのが役員1人1人の役職になるかと私は考えております。もちろん、守山青年会議所の運営を役員全員でやっていくとうことは大前提であります、理事長の想い、そしてこの守山青年会議所の想い、理事長自身はこの今日上がってきます理事長所信に1年間の全ての想いを込めて作りこられたと思います。皆様自身、本日までに読み込まれてきたかと思いますが、今一度、この想いはどういった想いが前提となっているのか、理事長は青年会議所に対してどのような想いでこの所信を書かれたのか、自分自身に問いかけたうえで本日の理事会を進めて頂ければと思います。その言葉一つ一つに絶対意味がありますし、青年会議所としての方向性を示すものであると考えています。

そして、皆様理事一人一人に本日から役職がつく形になるかと思います。理事長としてその役職につかれる方についてはどのような思いをもっておられるのか、それを聞ける場とゆうのもこの理事会の場でしかないと考えております。1分1分が非常に貴重な理事会になると思います。是非とも最後まで忌憚のない意見を出して頂くことを私自身期待しております。

そして、第1回理事会からこのようなことをゆうのは非常に心苦しくはあるのですが、小言とゆう形で言わせて頂きたいと思います。私たち青年会議所のメンバーとして、非常に重要しなくてはならない所に時間の使い方とゆうものがあるかと思います。それは、理事会においてもそうですし、委員会においてもそうですし、そして、皆様の仕事、私生活においてもそれは同じことではないかと思います。私自身、昔から先輩方に言われていたのが、どうしても来れない時はあるかと思う、ただ、5分10分の遅刻とゆうのはただの怠慢だ。と言われておりました。それは1日の時間の中で5分10分とゆうのはやりくりの中で都合のつく時間ではないのだろうか、自分自身の仕事をつけて、5分10分とゆうのは遅刻せずに来れる時間ではないのか、どうしても突発的な仕事があつてその時間に間に合わないとうことはあるかもしれませんが、ですが、5分10分とゆうのは本当に都合のつかない時間なのでしょうか、その事を改めて考えて頂きたいと思います。

もちろん、皆様に関しましては定刻より来て頂いている皆様であるかと思いますが、ですが、役員の一人として、これからの守山青年会議所のメンバーを導いて行く役職として、その事を胸に刻んで頂きこれからのJC生活を見つめて頂けたらと思います。最初からこのような事を申すのは非常に心苦しいことではありますが、第1回、ぜひこれが非常に良いスタートとなることと私自身は祈念しております。この時にいらっしゃらない役員の皆様にも、是非ともそのことを伝えて頂き、そして、これから2018年度まだまだ多くの理事会、そして事業があるかと思いますが、その事に活かして頂けたらと思います。本日だけにするのではなく、これからに活かす為に、この場の時間を有意義に使って頂きたいと思います。

それでは、本日の理事会が非常に有意義なものになることを祈念いたしまして、簡単ではありますが、直前のあいさつとさせていただきます。本日どうぞよろしくお願い致します。

7.議長選出

理事長より藤本直前理事長を指名される

8.定足数の確認 酒井専務理事

理事12名中11名の出席です。定款第43条により本理事会は成立いたします

9.オブザーバーの承認 酒井専務理事

オブザーバーはおられません。

10.提出資料の確認 酒井専務理事 アジェンダ記載の通りとなります。

11.報告事項

太田理事長 本日はございません。

酒井専務理事

アジェンダの報告事項にリンクが張られておりますのでこちらを開いて頂きますようお願い致します。
2018 年度の年間予定となっております。現時点で決まっている予定につきましては記載させて頂いておりますのでご確認をお願い致します。

まず、第 2 回の執行部会が 10 月 12 日木曜日、第 2 回理事会が 10 月 23 日月曜日、第 3 回執行部会が 11 月 6 日月曜日、第 3 回理事会が 11 月 17 日金曜日、第 4 回執行部会が 11 月 30 日木曜日、第 4 回理事会が 12 月 15 日金曜日、第 5 回執行部会が 12 月 21 日木曜日となります。

2018 年になりますと基本としましては理事会開催が 4 日、執行部開催日が 20 日となりますのでよろしくお願いたします。こちらの、スケジュール表には資料の締め日につきましても記載させて頂いておりますので、必ず確認をよろしくお願い致します。

報告は以上です。

12 業務執行役員報告

南出副理事長 本日はございません。

荒山副理事長

みなさま第 1 回目から遅刻してしまい申し訳ございませんでした。

理事会は 20 時開始とゆう私の思い込み、慣れから招いたものでございます。

逐一開始時間を確認して時間通りにくることを心掛けます。

いろいろみなさん言いたいことがあるでしょうが、私個人的なことでございますので、私個人に言ってもらいますようお願い致します。

報告はございません。

・
13 終了時刻の設定 酒井専務理事 20 時 45 分

14 議題の採択（審議案件）

（審議案件） 議長より審議事項第 12 号議案その他上程を求められたが、上程がないため第 12 号議案その他が抹消される。

15.審議

第 01 号議案 2018 年度理事長所信（案）並びに基本方針（案）・運営方針（案）承認に関する件（理事長）

太田理事長 読み上げ

小林理事

革新についてもう少し聞きたいのですが。0 から 1 ではなく、今まで守ってこられたものを大事にしながらの革新と感じましたが。何を守っていき、何を革新していくと考えておられますか。

太田理事長

まずは、青年会議所としてみんなで唱和している、クリード、ミッション、ビジョン、宣言、綱領、それらを中心に活動していますので、これらについては大切にしていかなければいけないですし、この守山青年会議所としては長期的な計画としてC-LinkCreationがございます。これが我々の日頃の現在の指針にもなっていますし、中期的なものとしてRoad to 2020とゆうものもございますので、そちらの考え方については、大きくゆうと会社でゆう理念みたいなものになると思いますので、そこは変えるべきではないと思います。

あとは、具体的にはひとつひとつを当たり前だからと行うのではなく、いい意味でも悪い意味でも疑って頂きたい。いい意味で疑って頂き、今後の守山青年会議所の理念実現の為に、何が必要かを考えて頂ければと思います。

あとは、先程申し上げた3信条ですね、守山の特徴であるこの3信条も大切でありますので、こちらを維持する為に先輩方が、どのようなことで組織を作ってこられたかとういうことも思いを馳せて頂きたいと思いますし、この団体の特徴とゆうのは、仲間のつながり、こうゆう場での深い議論、そして、出席率の高さ、本当に熱い志を実現するためのさうゆう組織として、さうゆう大切な所はありますので、さうゆう組織を強くしていくものについては当然、継承していき今後の運動に活かして頂きたいと思いますし、それをどう継承するかについては、先程も言ったように、見方を変えてですね、この時代にあった捉え方とゆうのもできると思いますし、その辺りのことについては、それぞれの中で今の私の言葉、そして、所信を踏まえて考えて頂き、委員会等で議論を尽くして頂きたいと思います。

上野理事

先進的な組織でなくてはならない。最新の情報インフラの活用、コンプライアンスの強化、意思決定の迅速化とありますが、少しぼんやりしている感じがします。もう少し具体的なイメージがあれば教えて頂きたいです。

太田理事長

最新の情報インフラの活用につきましては、時代と共に青年会議所も色々なものを駆使して、より良い議論、より迅速な意思決定できるように改善してきたと思いますが、日々ですね、この情報の世界とゆうのは進歩していますので、それらも色々検討して頂いて、活用出来るものがあれば活用して頂きたいなと思っております。コンプライアンスの強化につきましては、元々、青年会議所ではコンプライアンスとゆうと予算とか、会計といったものが適切になされているのかといった所をしっかりとチェックし、誤っていればしっかりと改善していくさうゆう会計面でのコンプライアンスを大切にしていますし、本年でもそこは大切にしていきます。あとは、守山青年会議所も、他の会社や、他の団体と同じような、一つの人の集まりであります社団法人でありますので、一般的に今言われている、時代の流れの中でのコンプライアンスがあると思います。人との関係性であったり、後は法令、いわゆる一般的な道德等も含めたさういった所でのコンプライアンスとゆうのは当然、青年会議所としても守っていかなければならないですし、青年会議所だからこれは許される、さうゆうものではないかと思うので、さういった面でも強化していきたいなと思っています。

事業実施、意思決定の迅速化につきましてはですね、青年会議所としては会議体でありますので、しっかりとした議論を尽くすとゆう意味では、しっかりとこの理事会であるとか、委員会であるとか、さういった所の意思決定とゆうものは大切にしていくのと同時にですね、時間をその中で大切にしてください、例えば、委員会での検証が甘かったから理事会の議論が長まった、理事会に議案が上程できなかった、もしくは、さうゆう所に固執する必要が無いのに固執したが為に理事会が延びてしまった、などですね。委員会でも同じです。委員長、副委員長の準備が甘かったから委員会の時間が長かったなども含めて見直していかないといけない。特にここ近年はメンバーの減少であるとか、そのあたりの意識が低下していた面もあるかと思いますが、プラス先程の情報インフラ等の活用も含めて、迅速化出来る所は迅速化して、皆様の貴重な時間の中でしっかりとした議論を尽くし、守山青年会議所としての意思決定をして行きたい、さうゆう想いがございます。

八幡理事

まちの革新についてお伺いしたいのですが。理事長所信（案）を見させて頂きまして、日本だけでなく世界の流れに即した守山を革新していくとあるのですが、この守山を革新とゆうのは具体的な手法、ビジョンなどがありましたら聞かせて頂きたいと思い質問させて頂きました。

太田理事長

こちらにつきましては、現在守山とゆう地域は本当にありがたいことに、先人たちの本当におかげやとおもいますけども、人口が増えてる地域であります。ただ、日本全体を見ていくと一部の都市部を除いてほとんどが人口減少の危機にあり、その中で、まちが消えてしまうような発表も色々な滋賀県でもいくつかの自治体がなくなってしまうんじゃないかとゆうような危機感の中ですね、今日本は、地域創生とゆう中で、この人口減少に対する対応を模索している現状でございます。

この守山の地域は、現在は人口は増えております。そしてまだ、統計では20年ぐらいは人口が増えるんじゃないかと言われている中で、この人口減少に対する危機感とゆうのが本当に薄くなってしまいうリスクがあるかなと思っています。一旦人口減少局面に入った時には、実際同時に、高齢化とゆう危機もむちゃむちゃ進んでまして、社会として本当に対応しないといけないと思いますし、そうゆう流れの中で今の時期から、私たちは危機感を持ってですね、他の自治体は生き残りの為に、他の自治体の間での競争、いかに人に住んでもらうか、いかに人に来てもらうか、そして、日本内での自治体との共存ではなくて、海外との様々なまちとの競争、いろんな魅力を作って、海外から人にきてもらおう、そうゆうような意識で人口減少いっていきまちの人、行政人、経済人は強い危機感をもってすでに動いてる所でございます。そうゆう現在の中ですね、守山としてもそこに乗り遅れなることなく、日本全体、そして世界全体の中ですね、このまちを今後も発展しよりよい社会にして行く為とゆう発想を持って頂き、具体的にとゆわれるとあれなんですけど、まだ人口減少は20年先と言われてますけども、高齢化であるとか、後は地域によってすでに学区によっては人口減少が始まってる地区もありますので、そうゆう所の危機感を共有して、この守山の良さを活かしてですね、さらに発展していく。そういったものを革新とゆう言葉であらわさせて頂いてます。

上野理事

メンバーの革新の所なんですけど、研修例会は公開例会とし、個々のメンバーの資質向上だけでなく、市民を巻き込んだ運動の展開に繋げていくべきであるとあるのですが。会員、メンバーに対して自己革新はセミナーや事業それぞれを開催することによって革新されると思うのですが、この市民を巻き込んだ運動と研修例会を公開例会にすることはなかなか革新とゆうことにつながらないのですが、どういった意味の中で繋がっていくのですか。

太田理事長

守山青年会議所は公益社団法人でありますので、公益事業として研修例会を行わせて頂きます。その中で、市民に公開してですね、市民にもこの例会、研修例会に魅力を感じて参加をして頂き、その中で我々自身も、研修例会で学び、自己革新に繋がると共にですね、立場は違えど、同じ市民として研修例会を受けて頂き、その過程の中で、参加して頂いた市民の成長とともに、守山青年会議所の例会、そして守山青年会議所の活動についても知って頂き、その中で成長、そしてJCについて触れて頂いた市民が将来、守山青年会議所、といいますか守山のまちのことを考えて頂いたり、または守山青年会議所の事業に協力して頂いたり、そういったことに繋がるような研修例会にしていきたいなとゆう想いがあります。そうゆう市民の巻き込みとゆうのが、我々守山青年会議所がただの活動ではなくて、運動だよと言っている所だと思いますので、そういった思いを込めてあります。

浅野理事

組織の革新についてお聞かせください。

2 段落目なのですが、情報を直接市民に提供し、とあるのですが、情報を直接市民に提供するとゆうのは、イメージとすれば、フェイスブック、SNSといったイメージでよろしかったですか。

太田理事長

そうですね、当然SNS、フェイスブック等含め情報提供の方法だと思っています。ただ、それらに限るわけではなく、一つ一つの市民と直接出会って話をするのもそうですし、電話なり、ホームページにつきましても直接見て頂けるのかなと思っていますし、この直接とゆうものを、間を介することなく情報を提供するものを含んでいるかなと思いますし、ただ単にですね、バツと広げて見て下さいとゆうものではなく、私たちはそれぞれの活動や、それぞれの想いを地域のどんな人に見て頂きたいのか、どんな人に届けたいのか、そういう所も意識しながら情報を発信していくとゆうことも、この直接とゆう意味では含まれています。対象を、例えば、みなさんに公開するもの、こゆう人に届けたいもの、それぞれ情報の向こう側にいる市民の顔と想いを浮かべながら情報提供すれば、よりよい広報活動ができるかなと考えております。

小林理事

まちの革新について質問させていただきます。守山の未来を担う青少年とゆうのは具体的に、小学生なのか、中学生なのか、高校生なのかとゆうのはありますか。

太田理事長

現時点では、中学生、小学生を含んで青少年と考えております。

浅野理事

組織の革新について質問させていただきます。2 ページ目の第 1 行目にマーケティングの発想とゆうふうに記載されていますが、まだ私の方が理解していないせいもあるのですが、青年会議所としては、一般的にものを売ったり、サービスを提供してるわけではないので、マーケットする対象がよくわかりません。なので、その一般的なマーケティングの手法が我々の活動とどうリンクするのかとゆうのがちょっとわからなかったのもう少し具体的に教えて頂けたらと思います。

太田理事長

一般的にマーケティングとゆうのはモノ、サービスを売る際に、いかに具体的な売り込みとゆうのをせず、仕組みを作って、とゆうものになりますので、いかに、ターゲットを考え、絞っていくのもマーケティングの手法にもなりますし、組織としてはモノを売る、サービスを提供する為にいかに効率よくといいますか、こちらの情報を求めている人にいかにきちんと伝え、買ってもらおうとゆうのが、会社でゆう経済活動かなと思います。これを守山青年会議所に置き換えてみますと、守山青年会議所としては町の人を巻き込んで、町をよくしていきたい。その具体的な流れとして、一つは、社会開発運動であったり、青少年を対象に事業をして、そこに参加して頂きたい。これがモノを売るとゆうところに通じるところだと思います。我々の事業を知って参加を頂く、また別の方法でいいますと拡大についてもとゆうことが言えるかなと思います。我々は仲間を集めるにあたって、仲間になって頂く。ここがモノを売るとゆうところにつながるかなと思っています。とゆう所をマーケティング、モノを売るとゆう世界ではですね、非常に何十年研究し、今のマーケティングを駆使してモノを売ったり、サービスを提供したり、サービスを購入して頂くといったことをされてますの

で、それらの考え方を導入して、より我々の活動を市民に知って頂き、参加をして頂き、研修例会につなげ、拡大につなげていくなどの効果を最大限に発揮する為に導入してほしいのが、マーケティングの考え方や手法です。

小林理事

拡大のことについて質問させていただきます。強い意識と気持ちで拡大活動をしていく中で、謙虚に次年度以降にも繋がる拡大活動とゆうのはこういった活動の仕方なのですか。

太田理事長

拡大活動におきましては、強い気持ちで、相手に熱い気持ちを伝え、なんとか理解して頂き、全部理解して入って頂くとゆうことではないので、入会にむけてある程度背中を押してあげるとゆう強い行動が必要になるとゆうのが一般的かと思います。ただ、相手もいろんな状況や立場がありますので、こちらが押し付けるだけではなく、相手の状況にもきちんとこっちが情報を提供して、きちんと想いを伝えて、その中で相手が今の入会は厳しいといった中で相手の立場を配慮せず、無理矢理勧誘を続けたりだとか、あとは、結局あいつは入りよらへんのやと切ってしまうのはよくないことだと思いますので、また状況が変われば守山青年会議所に入って頂けるかもしれないですし、また、その人が自分は入れへんけど自分の周りの人を入れて頂くとゆうことにつながるかもしれませんので、今年度の拡大だけにとらわれず、そういう意味で私たちは一つ一つの言動が、守山青年会議所の言葉、守山青年会議所の行動として見られますので、そのあたりはそういった所も配慮した拡大活動が必要じゃないかなと思います。

浅野理事長

組織の革新についてお聞かせ下さい。組織の革新がどう貢献に繋がるのか。何をもって貢献になるのかお教え下さい。

太田理事長

私たちがやりたいことを進めていくうえで、より迅速に、より効果的に、より力強い組織を作ることにより私たちがやりたいことに貢献すると考えております。

村田理事

サブタイトルに貢献とゆう言葉が使われてまして、最後の締めにも貢献が出てくるのですが、3 信条にある奉仕ではなくあえて貢献とゆう言葉が使われた意味を教えてください。

太田理事長

自分以外の何かの役にたつとゆうか、何かの為に活動するとゆう意味では同じだと思います。その中で貢献とゆう文字を使わせて頂いたのは、奉仕と言いますと少し自己犠牲的なイメージが強いように思いますし、社会的一般企業のCSR、CSVといったことを考える時には貢献とゆう言葉が多いと思い貢献とゆう文字を使わせて頂きました。

議長

それでは審議の方を取らせて頂きます。

第 01 号議案 2018 年度理事長所信（案）並びに基本方針（案）・運営方針（案）承認に関する件承認いただける方、挙手にてお願いいたします

専務理事

賛成多数です。全員です。

議長

全会一致にて承認されました。

第 02 号議案 2018 年度公益社団法人守山青年会議所 事業計画（案）承認に関する件（理事長）

議長

定足数の変更のほうを専務理事宜しくお願い致します

専務理事

高岡理事が来られましたので 12 名中 12 名の参加となります。変更させていただきます。

議長

続きまして第 2 号議案のほうにうつらせて頂きます。2018 年度公益社団法人守山青年会議所事業計画（案）承認の件、理事長宜しく申し上げます。

理事長

はい、2018 年度公益社団法人守山青年会議所事業計画（案）上程をさせていただきます。こちらの内容につきましては、議案の通りとなっております。ここ数年、ここ 2 年ぐらいの事業計画案にならったかたちの内容となっております。皆様、宜しく願いいたします。

議長

はい、ありがとうございます。それでは第 2 号議案に対してご質問のあるかた、挙手にてお願いいたします。ございませんでしょうか？こちらの方、ご承認いただけるということは、理事の皆様はこの時間に従って出席していただける形での承認になります。そちらの方を良く考えた上で、ご質問のほうをお願いします。はい、それでは第 2 号議案のほう承認を取らせて頂きたいと思います。第 2 号議案 2018 年度公益社団法人守山青年会議所事業計画（案）承認に関する件承認いただける方、挙手にてお願いいたします。

専務理事

全員です。

議長

全会一致にて承認されました。

第 03 号議案 2018 年度公益社団法人守山青年会議所組織図（案）承認に関する件（理事長）

議長

つづきまして、第 3 合議案 2018 年度公益社団法人守山青年会議所組織図（案）承認に関する件、理事長宜しく申し上げます。はい、こちらの議案のほう、開くのにパスワードがかかっております。パスワードの開示のほうを専務理事宜しく申し上げます。

専務理事

第3号議案パスワードは、アルファベット小文字で、m j c 3 5です。

議長

皆様ひらけましたでしょうか。開けない方はいらっしゃいませんか。それでは太田理事長宜しくお願いします。

理事長

守山青年会議所組織図（案）につきまして上程させていただきます。お手元の組織図にありますとおり、総会、理事会、理事長、監事がこのようにあると共に、専務理事、副理事長二人、そして、こちら記載のとおり事務局、総務広報委員会、会員研修委員会、社会開発委員会のほうを上程させて頂きたいと考えております。宜しくお願いいたします。

議長

はい、ありがとうございます。それでは、質問のほうはございませんでしょうか。挙手にてお願いいたします。ございませんでしょうか。それでは、承認を取らせて頂きたいと思います。2018 年度公益社団法人守山青年会議所組織図（案）承認に関する件、承認いただけるかた、挙手にてお願いいたします。専務理事お願いします。

専務理事

全員です。

議長

全会一致で承認されました。

第 04 号議案 2018 年度正副委員長指名承認に関する件（理事長）

議長

それでは、続きまして第4号議案 2018 年度正副委員長指名承認に関する件、理事長宜しくお願いします。専務理事パスワードの開示のほう宜しくお願いします。

専務理事

パスワードは、a a a です。

議長

パスワードはa a a となっております。

理事長

それでは、正副委員長指名承認に関する件を上程させていただきます。総務広報委員会、委員長浅野君、副委員長北村君、会員研修委員会、委員長上野君、副委員長高岡君、社会開発委員会、委員長八幡君、副委員長白澤君、以上ご承認の程宜しくお願い致します。

議長

総務広報委員会、委員長浅野君、副委員長北村君、会員研修委員会、委員長上野君、副委員長高岡君、社会開発

委員会、委員長八幡君、副委員長白澤君、となっております。ご質問のある方、宜しくお願いします。審議のほうを取らせて頂きます。第4号議案 2018年度正副委員長指名承認に関する件、承認いただける方は挙手にてお願いいたします。はい、専務理事。

専務理事

全員です。

議長

全会一致にて承認されました。

第05号議案 2018年度事務局長指名承認に関する件（理事長）

議長

続きまして、第5号議案事務局長指名承認に関する件、理事長宜しくお願いします。パスワードのほうを専務理事宜しくお願いします。

専務理事

パスワードは、c 3 5 m j です。c 3 5 m j です。

議長

皆様ひらけましたでしょうか、それでは太田理事長宜しくお願いします。

理事長

事務局長として浅野君を指名をさせていただきます。ご承認を宜しくお願いいたします。

議長

事務局長として浅野君を指名いただきました。ご質問のある方は挙手にて宜しくお願いいたします。おられませんでしょうか。それでは、決議のほうを取らせて頂きたいと思います。第5号議案事務局長指名承認に関する件、審議いただけるかたは挙手にてお願いいたします。専務理事。

専務理事

全員です。

議長

全会一致にて承認されました。

第06号議案 2018年度事務局補佐指名承認に関する件（理事長）

議長

それでは、第6号議案にうつらせて頂きます。第6号議案事務局補佐指名承認の件、理事長宜しくお願いいたします。パスワードの方を事務局長お願いいたします。

事務局長

パスワードは、3 5 m j c となっております。

議長

パスワードは、3 5 m j c となっております。

理事長

それでは、事務局補佐として北村君を指名させていただきます。

議長

事務局補佐として北村君のほうに指名されました。ご質問のあるかたは挙手にてお願いいたします。ございませんでしょうか？それでは、審議のほうを取らせて頂きたいと思います。第6号議案事務局補佐指名承認の件、承認いただけます方は拍手にて承認を宜しく願います。

(拍手)

全会一致にて承認させていただきます。

第07号議案 2018年度事務局員指名承認に関する件（理事長）

議長

続きまして、第7号議案事務局員指名に関する件、理事長宜しく願います。パスワードを事務局長願います。

事務局長

パスワードを申し上げます。5 m j c 3

議長

5 m j c 3 になります。太田理事長宜しく願います。

理事長

事務局員として中井智子さんを指名させていただきます。ご承認を宜しく願います。

議長

事務局員として中井智子さんを指名いただきました。ご質問のある方は、挙手にてお願いいたします。ございませんでしょうか。はい、それでは、第7号議案のほうを審議を取らせて頂きたいと思います。2018年度事務局員指名承認に関する件、ご審議いただける方は拍手にてお願いいたします。

(拍手)

全会一致にて承認されました。

第08号議案 2021年度出向役員指名承認に関する件（理事長）

議長_____

続きまして、第8号議案 2018 年度出向役員指名承認に関する件、理事長宜しくお願いいたします。パスワードのほう事務局長お願いします。

事務局長_____

パスワードを申し上げます 5 3 c j m です。

議長_____

5 3 c j m です。開けましたでしょうか。それでは、太田理事長お願い致します。

理事長_____

出向役員指名に関しまして上程させていただきます。公益社団法人日本青年会議所近畿地区滋賀ブロック協議会役員として、村田徹くんに出向いただきたいと考えておりますので、役員として指名をさせていただきます。ご承認を宜しくお願い致します。

議長_____

はい、日本青年会議所近畿地区滋賀ブロック協議会役員として村田徹君を指名されました。ご質問のある方、挙手にてお願いいたします。よろしかったでしょうか。それでは、第8号議案 2018 年度出向役員指名承認に関する件、こちらのほうも人事案件ですので拍手にてご承認をお願いいたします。

(拍手)

承認させていただきます。

第 09 号議案 2018 年度委員会編成承認に関する件（理事長）

議長_____

続きまして、第9号議案 2018 年度委員会編成に関する件、事務局長お願いいたします。

事務局長_____

それでは、事務局のほうから第9号議案 2018 年度委員会編成に関する件、上程させていただきます。総務広報委員会からメンバーを読み上げさせていただきます。

議長_____

ちょっと待って、読み上げをされるというのは誰がメンバーを決めたのですか。

事務局長_____

ここでメンバーを決めた経緯でしょうか？

議長_____

例年の理事会ですと、委員長が一人ずつメンバーを選んでいくのですが。今回はどなたかが事前にメンバーを決められているのですか？

事務局長

事前に、あの一、委員長のほうで・・・

三品監事

一度休憩を取られたらいかがですか？

議長

それでは、5分間休憩を取らせていただきます。それでは20時40分に再開します。

(休憩)

事務局長

先ほどは失礼しました。改めまして、第9号議案2018年度委員会編成承認に関する件上程させていただきます。各委員会の委員長は前に出てきていただけますでしょうか？それではこれから、抽選にて順番を決定し、その順番に基づいて委員メンバーのほうを指名していきたいと思います。

酒井理事

浅野君、抽選だけしたら着座で

事務局長

はい、わかりました。そしたら抽選だけ。引かせてもらいます。この番号に基づいて順番に一人ずつ決めていきます。

酒井理事

順番を発表してください。

事務局長

順番を発表します。一番が上野理事、二番が八幡理事、三番が私です。この順番で指名させていただきます。それでは、上野理事からいきましようか。お願い致します。

上野理事

座ったまま失礼します。池田君を指名します。

浅野理事

会員研修委員会池田晋一朗君。

議長

ホワイトボードに記入してください。

浅野理事

続きまして、八幡委員長お願いします。

八幡理事

奥野君を指名します。

浅野理事

はい、私は、小林君を指名します。続きまして、上野委員長お願いします。

上野理事

はい。大堀君を指名します。

八幡理事

はい、坂田君を指名します。

浅野理事

私は、河島さんを指名いたします。

上野理事

はい、私は坪田君を指名します。

八幡理事

佐藤君を指名します。

浅野理事

総務広報委員会としては、古川君を指名します。

上野理事

村田君を指名します。

八幡理事

杉本君を指名します。

浅野理事

前里君を指名します。

上野理事

持永君を指名します。

八幡理事

仲山君を指名します。

浅野理事

吉岡君を指名します。

上野理事

山本君を指名します。

八幡理事

山口君を指名します。

事務局長

以上が、以上で全員出揃いましたので、第9号議案このメンバーにて、ご承認のほど、宜しく申し上げます。

議長

はい、ありがとうございます。ただ今発表いただきました順番などに関しましては、この場だけのものとさせて頂きたいと思いますので、メンバーの方には知らせないように、くれぐれも宜しくお願いいたします。では第9号議案、2018年度委員会編成承認に関する件、ご承認いただける方は、拍手にてご承認宜しくお願いします。

(拍手)

承認されました。

第10号議案 2018年度特別委員会設置承認に関する件（理事長）

議長

つづきまして、第10号議案に移らさせていただきます。第10号議案 2018年度特別委員会設置承認に関する件、太田委員長宜しくお願いします。パスワードの発表を事務局お願いします。

事務局

はい、第10号議案パスワードのほう、C J M 5 3 になっております。

議長

パスワードのほう C J M 5 3 になります。はい、皆さん開けましたでしょうか。では、理事長宜しく願います。

理事長

はい、それでは特別委員会の設置について上程をさせていただきます。組織図記載のとおり、新入会員選考委員会兼、選挙管理委員会の設置と、社会・・・失礼しました。会員拡大特別委員会の設置のほう宜しく願います。

議長

はい、太田理事長の方から、新入会員選考委員会、選挙管理委員会、会員拡大特別委員会の設置のほうを上程されました。ご質問のある方は挙手にてお願いいたします。ございませんでしょうか。それでは、審議のほうに移らさせていただきます。第 1 0 号議案 2018 年度特別委員会設置承認に関する件ご承認いただけます方は挙手にてお願いいたします。

(拍手)

全会一致で承認されました。

第 11 号議案 2018 年度特別委員会委員指名に関する件（理事長）

議長

はい、それでは続きまして第 1 1 号議案 2018 年度特別委員会委員指名に関する件、続きまして太田理事長宜しく願います。事務局のほうはパスワードのほう宜しく願います。

事務局

はい、パスワードのほうを申し上げます。J M 5 3 C です。

議長

J M 5 3 C になっております。はい、皆さん開けましたでしょうか。はい、それでは太田理事長宜しく願います。

理事長

はい、それでは、特別委員会の委員指名に関する件、上程をさせていただきます。新入会員選考委員会、選挙管理委員会の委員メンバーとして、まず、高岡君を委員長、そして、池田君、前里君、持永君を委員として指名をさせていただきます。続きまして、会員拡大特別委員会の委員について指名をさせていただきます。委員長として小林哲也君、副委員長として浅野君、上野君、八幡君、委員メンバーとして、北村君、白澤君、高岡君、村田君、池田君、大堀君、奥野君、河島君、坂田君、佐藤君、杉本君、坪田君、仲山君、古川君、前里君、持永君、山口君、山本君、吉岡君を指名をさせていただきます。

議長

はい、ありがとうございます。新入会員選考委員会の委員長を高岡君、選挙管理委員会も同様となっております。その他議案の通りとなっておりますので、皆様ご確認の程宜しく願います。それでは、質問のある方は挙手にてお願い致します。よろしかったでしょうか。はい、それでは、ご質問のほう無きようですので、審議に移らさせていただきます。第 1 1 号議案 2018 年度特別委員会委員指名に関する件、ご承認いただける方は、拍手をもってご承認を宜しく願います。

(拍手)

全会一致で承認されました。

16. 議案の採決（協議事項）

議長_____ 議長より、本日の協議事項第 01 号議案その他の上程を求められたが、上程がないため第 01 号議案が抹消される。

議長退席

それでは全ての議案のほう終了いたしましたので、本日はこれにて議長の席を退席させていただきます。度重なる延期のほう大変申し訳ございませんでした。ありがとうございました。

18.委員会報告_____ なし

19.監事総評

間宮監事

みなさん、今晚は。先ずは第 1 回理事会ということで、おつかれさまでした。2018 年度も引き続き監事をさせていただきますので、どうぞ宜しくお願い致します。先ず、第 1 回ということで、よくあるのが、全員理事が集まるのが良かったなというふうに思います。あの、近年の過去の議事録を見てるとなかなか全員集まり難いのかなという現状を垣間見れたんですが、昔はみんなが集まれるように段取りが組まれていたのかなと思います。あの、集まれなくてもしかたがないんですけどね、やっぱり理事長がこうやって特別な思いをもって、この理事会に臨んでおられると思います。全ての理事、役員が手を挙げて理事長の所信を承認したかったな、と思っております。遅刻をされた方を責めているわけでは全くないんですけど、通常の理事会と違いますんでね、日にちも時間も間違わないように何かできることはなかったのか、ハガキだけ送っていたら、今日みんなが揃うと思っていたのか、というところも考えるとこではあるかと思えますしね、逆に言えば、20 時の定刻スタートであれば全員集まったのではないのかということも思いました。じゃ、なんで 19 時なんだ、っていう話になってくるんですけどね、20 時から懇親会を開いてくれる会場がなかったのか、なんてことも考えたりしました。何が言いたいかというと、前年がこやったから今年もこうするというのが一番無難で楽、間違いがない、というところであるかと思うんですけどね、理事長も最初仰ったことなんですけど、J C の当たり前を疑おう、そして革新していこという部分であるかと思えますんでね。一番大事なものは何かって考えれば、全ての理事が集まって議論を尽くすっていうのがこの理事会の一番大事なことであるかというふうに思えますんでね、何を一番にもってくるのか、どういうふうな展開で進めていくのか、なんてことを考えていただけると、理事長が仰ってる革新っていう部分につながってくるのかなというふうに思います。そのあたり、理事さん経験の少ない方がたくさんおられるというふうに思えますんでね、私も監事として、皆さんが分からないことであるとか、知らないことというのをフォローしていけるような監事をさせていただきたいなというふうに思っております。よくいう、その、知らないことと、できないことと、やらないことのこの 3 つは違うと思いますんでね、知った上でこれをしないというのが J C の一番大事といわれる部分だと思いますんで、知らないまましないとかいうのが一番駄目というふうに思えますんで、今を変えていくっていうのが、過去を考えた中で、検証した中で、どうしていくのかというのが、ほんとにこう、大変なところではあるかというふうに思います、けれど、2018 年革新でございますんでね、より良い組織運営事業運動というのを 20

19年度に伝えられるように、みんなでがんばっていききたいなというふうに思います。あと、最後に1点、第7号議案で承認されました事務局員さんでございました。理事さん、これらかすぐく事務局員さん、中井さんと接することが多くなるかというふうに思います。是非、中井さんと、なんというか、仲良くというんですかね、考え方でいったらね、僕らの会費からお給料払ってお仕事をさせていただいてるかたという見方もあるかもわからないですけどね、中井さんはほんとにこう、OBさんの対応とか、外部からの対応であったりとか全て僕らが昼間できない仕事を全うしていただいていますんで、是非とも、その中井さんと仲良くしていつて頂きたいというふうに思いますし、現状、JCに関ってるメンバーの中で言いますと、中井さん2001年からこの守山青年会議所の事務局を預かって頂いていますんで、16年選手、たぶん、誰よりもJCのことを知っている方やと思いますんで、昼間、なかなかメンバーが来なくて寂しいというお話もされてますんでね、初めての方は、中井さんも毎日いらっしゃるわけでもないんでね、誰が来はったのか、メンバーなのか、市民の方なのか分からないという話もされておられますんで、是非とも、何々委員会理事の何々ですとって、中井さんと交友を深めていつていただき、いろんなことを学んで、教えてもらっていただきたいと思いました。2018年素晴らしい年になりますように、私も、頑張っていきますんで、頑張りましょうということ、本日の総評に変えさせていただきます。ありがとうございました。

三品監事

改めまして、こんばんわ。2018年度の第1回の理事会、大変お疲れ様でした。太田理事長におかれましては、この第1回を迎えられるにあたって、相当な苦勞をされたと思いますし、ほんとうにお疲れさまです。そして、2018年度のスタート本当におめでとうございます。そしてですね、今日、第1回の理事会を開催されてですね、最初に皆さん揃って折られなくてですね、残念な部分もあるんですけど、最終、皆さん集まっていたいてですね、この理事会終えることができています。そのなかで、理事長が掲げられた所信がですね、通過し、審議可決ということでですね、2018年度の運動の本当の幹となるものが可決されました。ここにいらっしゃる皆様は、理事として、守山青年会議所の理事として、これから2018年の役割を全うしていただくことになるかと思います。その役割を全うされるにあたってですね、太田理事長が掲げられた、所信を常に読み返して、あの一、自身の行動、活動に繋げて、そして運動にですね繋げていただくことを常に心がけていただきたいなというふうに思っております。そして、今日の理事会についてですが、間宮監事も少し仰ってたんですけども、非常に厳肅な雰囲気の中、緊張感をもって皆さん挑んでおられる姿が印象的ですね、これまで守山青年会議所が開催実施してきた理事会であったのかというふうに思いますし、非常に誇らしく見させて頂いております。そしてですね、このまま緊張感と厳肅な雰囲気を持ってですね、来年の12月の理事会を迎えられるように、是非継続して頂きたいなというふうに思っております。あと、先ほども少し申しました理事ということですね、つい先日も新理事セミナーを開いて頂いたというふうに伺ってはいるんですが、基本、理事ということで、この理事会にいらっしゃる皆さん、ここに上がってくる、上程される全ての議案に対して確認して理解をして、そして、把握した上で、承認、ないしは反対の意思表示をされる立場にいらっしゃいます。要は、守山青年会議所の運営に主体的に関っていただく立場にいらっしゃることになります。ま、上がってくる案件に関してですね、勿論、他の委員会が上げられるものに対して意見をいうことも実際あります。その中で、仲間が上げられている上程されている議案をですね精度の高いものに仕上げていく、そんな作業もされていく必要もありますしね、理事会で決定された事項についても、委員会に持ち帰っていただいて、今回理事会で議論されたことを報告していただいて委員さんにも共有していただく役目もあります。なにもよりも一番大事なのはですね、今回この理事会で決定された事項に関して、理事の皆さんは率先して取り組んで頂くことが大事になります。この理事会で決定されるときに、皆さん承認のときに、こうやって手を上げられるんですね、これ、上げられたということは、挙げられている上程されている議案に対して、自分はコミットしていくということの意思表示でもあると思います。この議案、何となく良いから手を挙げとこなっ

で、手を挙げられる方は一人もいらっしゃらないと思いますし、そうしていただきと思います。その意思と覚悟、ご自身の理事としての気概をもって取り組んでいただきたいなというふうに思っております。そんなかたちで、1年間取り組んで頂ければ、太田理事長掲げられている革新というものがですね、しっかりとした2018年に導けるのではないかとおもいますので、そのあたり、お願いを申し上げまして、今回の監事総評とさせて頂きたいと思います。お疲れ様でした。

20.次回理事会開催日 10月23日（月）20:00～ J Cルーム2階

事務局 10月 8日（日）資料
10月12日（木）20:00～ 第2回執行部会
10月19日（木）資料
10月23日（月）20:00～ 第2回理事会

21.閉会